



池田 幸恵 議員

# フリースクール通所 費用の助成を

教育長

## 前向きに考える

【池田】町内の長期欠席児童が、「寺子屋」以外へ通う民間教育施設フリースクールに対する考えは。

【教育長】自分に合った環境を見つけて、新たな一歩を踏み出す場所としての存在は年々大きくなっている。

【池田】フリースクールの連携は。

【教育長】情報共有は随時行っている。

【池田】義務教育期間のフリースクール通所費用を助成する考えは。

【教育長】県の事業を活用しながら前向きに考えていく。

【池田】県の事業には所得制限があり、助成対象外の世帯ができる。町独自の施策を取り入れ通所費用無償化の考えは。

【町長】私立中学や高校などに通う生徒との公平性に問題がある。

【池田】それへの助成制度は県にすでにある。長期欠席児童生徒同様に保護者も日々悩み先の見えない状況である。少しでも経済的負担なく通える場を選択できる環境が必要では。

【町長】引き続き考えたい。



鳥取県不登校児童生徒支援事業費補助金の制定

県内の義務教育段階にある児童生徒が、学校以外の施設に通う場合の経費に対する支援を行うため、令和2年度に制定しました。市町

4月から始まっていた事業



森本 貴之 議員

# 遅れている防災対策は

町長

## 家屋の耐震化と 支え愛マップ作りだ

【森本】防災監採用について大切なものは何だと考えるか。

【町長】非常時の対応や助言が大切だ。行政の備え、地域の備え、そこを促進していくのが防災監の役割だ。

早く防災監が採用できるよう、鋭意努力する。

【森本】防災における地域力とは。

【教育長】自分たちの生命・財産を自身で守る気持ちや団結力だと考える。

防災教育は、年2回以上の避難訓練や災害

【森本】家屋の耐震化をどう進めるか。

【町長】耐震基準を満たしてないものについて、県あるいは町の補助金を使い耐震化を進める。

【森本】支え愛マップ作りをどう進めるか。

【町長】社会福祉協議会などと協力する。

【森本】本町の遅れている防災対策は。

【町長】家屋の耐震化、支え愛マップ作りが遅れている。

【森本】家屋の耐震化をどう進めるか。

【町長】耐震基準を満たしてないものについて、県あるいは町の補助金を使い耐震化を進める。

【森本】支え愛マップ作りをどう進めるか。

【町長】社会福祉協議会などと協力する。



防災意識を高める地域活動を